

# 目立つ施設の老朽化 農業用施設の現況を調査

建設経済常任委員会  
所管事務調査報告

土地改良区との意見交換会



12月議会定例会において、閉会中の所管事務調査の議決を得て、1月16日、2月5日の2日間、農業用施設、特に堰（頭首工）や用水路の実態を調査しました。

始めに、町当局から町内農業用施設の現状、施設改修等に対する国県補助事業の有無や町助成制度の内容等について調査しました。

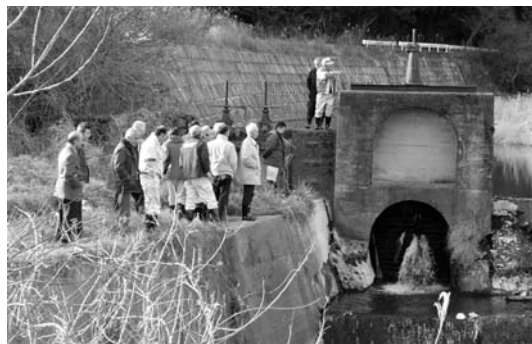
## 施設の実情を調査

次いで、農業用施設を維持管理している棚倉町土地改良区（理事長高橋磯吉）役員との意見交換を行い、実際に施設の実情の把握するため、老朽化が目立つ堤幹線用水路岡ノ内堰（強梨地内）、寺山堰（孫目堰）を調査しました。

## 調査結果

- \*管内の農業用施設は、施工後三十年以上が経過していることからいずれの施設も修繕・改修時期が迫っている。
- \*改修には多額の工事費が予想されるため、受益農家の負担が大きく、事業の着手に不安が出ている。
- \*農業用施設の堰や用水路は、防火用水も兼ねていることが多く、受益農家だけの施設の維持管理・費用負担に懸念を示している。
- \*河川改修により設置されたラバー（ゴム）堰も補修・改修の時期が近づいている。
- \*堰の改修をするための国県補助事業採択が難しい。

老朽化が目立つ寺山堰（孫目堰）



## 意見

棚倉町の基幹産業として農業は将来とも着実に振興していくことが必要である。農地は耕作者において管理されるが、農業用施設等は防火用水等の公共的機能も併せ持つことから恒常的に維持管理がなされなければならない。よって、中長期的な視点に立って国県の補助事業を有効に活用するとともに、原材料支給等による補修を行い、農家受益者の負担軽減に努めるべきである。

## 町村議会広報研修会

平成二十年十一月十三日、ビッグパレットふくしまで、県内の議会広報を担当する議員を中心に研修会が開催されました。広報編集常任委員を初め、今回は、一期議員も参加し、「議会だより」のチェックポイントや議会広報クリニックについて研修しました。

## よい生活をすすめるためのグループ講習会

平成二十年十一月二十日に町保健福祉センターの調理実習室で、町議会議員を対象に開催されました。町食生活改善推進委員の皆さんと一緒に、牛乳・乳製品を使った献立を作り、おいしく試食しました。その後、「ビデオ「健康診断を受けてよかった」を鑑賞し、健康診断の大切や、日頃の食生活を見直す良い機会になりました。

研修会のようす



「日頃の腕前」を発揮!?

